



針尾っ子だより

一人一人が輝く学校をめざして

佐世保市立針尾小学校

No.27 R5.10.24

文責 校長 前川 直樹

最後までやりきって 思い出にのこった運動会！

10月22日（日）、さわやかな秋晴れのもと、令和5年度運動会が行われました。9月22日の代表委員会で、「最後までやりきって 思い出にのこる運動会にしよう」とスローガンが決まり、それからおよそ1ヶ月間、子どもたちは運動会に向けて準備や練習など精一杯取り組んできました。当日は、その成果や一人一人がキラキラと輝く姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。私たち教職員も大きな学校行事の一つである運動会の取組を通して、1・2年生の一生懸命頑張る姿、3・4年生の一段とたくましくなった姿、そして5・6年生のリーダーとして全校を引っ張る姿など、子どもたちがさらに前進した姿を見ることができたことをうれしく思っています。みんなが最後までやりきることができました。結果は、なんと赤組419点、白組419点、同点優勝！でした。

みんなでバンザイ！最高の思い出となりました。

運動会前々日のテント張りや当日朝早くから会場設営など、たくさんの保護者の方々にご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。保護者の方々の温かさ、繋がり、パワーを改めて感じました。バザーの取組も大変お疲れ様でした。

地域の皆様、保護者の皆様、最後まで子どもたちへの温かいご声援と拍手、本当にありがとうございました。



【児童代表の言葉】

閉会式で、6年生田中隼生さんが児童代表の言葉を述べました。当日も聞かれたかと思いますが、運動会に臨んだ気持ちとこれからの決意が素直に述べられています。ぜひご一読をお願いいたします。

みなさん、今日の運動会はどうでしたか。一年生にとっては、初めての運動会でしたね。楽しかったですか。私たち六年生は、今年が小学校最後の運動会でした。

私は、この最後の運動会で審判係としてがんばりました。運動会がスムーズに進むように、自分で考えて行動しました。また、係の仕事だけではなく、運営・集会委員会としての仕事もあり、六年生としての自覚を強くもつことができました。

今年のスローガンは、「最後までやりきって思い出に残る運動会にしよう」でした。赤組も白組も最後まであきらめずに優勝をめざしてがんばったので、思い出に残る運動会になったと思います。

これから、縦割り活動など、様々な取組が待っています。運動会で学んだチームワークを生かしながら、がんばって取り組んでいきます。

最後になりましたが、ご来賓のみなさま、地域の方々のみなさま、そして、朝早くから私たちのために運動会の準備をしてくださった保護者のみなさま、今日は熱いご声援をありがとうございました。

私たちはこれからもいろいろなことにチャレンジし、がんばっていきます。これからも、応援をよろしくお願いします。

児童代表 6年 田中 隼生